



MX800 シングル
シングル カメラ付き



MX800 シングル
デュアル カメラ付き



MX800 デュアル



MX700
シングル カメラ付き



MX700
デュアル カメラ付き

Cisco TelePresence MX700 および MX800 の壁面取り付け 会議室準備ガイド

本書では、壁面取り付けバージョンの Cisco TelePresence MX700 および MX800 を設置する前の会議室の準備方法について説明します。

目次

壁面と取り付け器具の要件.....	3
壁面ブラケットのネジ寸法.....	4
取り付け高さの計画.....	5
シングルまたはデュアル カメラ付き MX700 用の配線計画.....	6
シングルまたはデュアル カメラ付き MX800 シングル用の配線計画.....	7
MX800 デュアル用の配線計画.....	8
その他のリソース.....	9

壁面と取り付け器具の要件

地域の規制に従ってください

壁面取り付け型システムは、国と地域の建物および電気設備に関する規制に従って、有資格者が設置する必要があります。

安全上の注意事項

いつでも装置の電源を切断できるように、電源スイッチにすぐ手が届く状態にしておいてください。電源スイッチは装置の左側、サイドカバーの背後にあります。

システム重量

MX700

- 重量（シングルカメラ）：161 kg（355 ポンド）
- 重量（デュアルカメラ）：167 kg（368 ポンド）

本製品はサイズが大きく重いため、3人の従業員が協力してシステムを取り付けることを推奨します。

MX800 シングル

- 重量（シングルカメラ）：110 kg（242 ポンド）
- 重量（デュアルカメラ）：116 kg（256 ポンド）

本製品はサイズが大きく重いため、4人の従業員が協力してシステムを取り付けることを推奨します。

MX800 デュアル

- 重量：224 kg（494 ポンド）

本製品はサイズが大きく重いため、4人の従業員が協力してシステムを取り付けることを推奨します。

壁面に関する要件

MX700/MX800 システムはサイズが大きく重いため、壁面構造がシステムの重量を十分な余裕を持って支えられることが重要です。

下部壁面ブラケットがシステムの総重量を支えるため、壁面が支えなければならない負荷について考える場合、主にこのブラケットに注目します。

取り付けポイントごとの負荷計算

下部壁面ブラケットの取り付けポイントごとの負荷を計算するには、安全係数を使用します。この安全係数は壁面の構造と状態、および地域の建築規制によって異なります。一般的な目安として、4 を安全係数として使用できます。

取り付けポイントごとの負荷計算：

- システムの重量 (kg) X 安全係数/取り付けポイントの数 = 取り付けポイント当たりの重量 (kg)

取り付けポイントごとにニュートン単位に変換：

- 取り付けポイント当たりの重量 (kg) X 9.81 m/s² = 取り付けポイント当たりのニュートン (N)

取り付けポイント当たりの負荷が壁面に対して高すぎる場合、取り付けポイントを増やすか、壁の強化を検討してください。

取り付け器具の要件

壁面取り付けに使用する取り付け器具（ネジ、ボルト）は、製品を安全に支持できるものでなければなりません。

壁面ブラケットでサポートされるネジ寸法は、5 mm（0.20 インチ）です。取り付け器具は支給されません。

取り付けポイントは壁面の間柱に配置してください

通常、壁面の間柱は均等な間隔で配置されますが、どの建物でもそうであるとは限りません。取り付けポイントの間柱に配置します。

取り付けポイントは最小数の間柱に合わせる必要があります。

- MX700 では、取り付けポイントは少なくとも3つの間柱に合わせる必要があります。
- MX800 シングルでは、取り付けポイントは少なくとも2つの間柱に合わせる必要があります。
- MX800 デュアルでは、取り付けポイントは少なくとも4つの間柱に合わせる必要があります。

取り付けポイントの推奨数

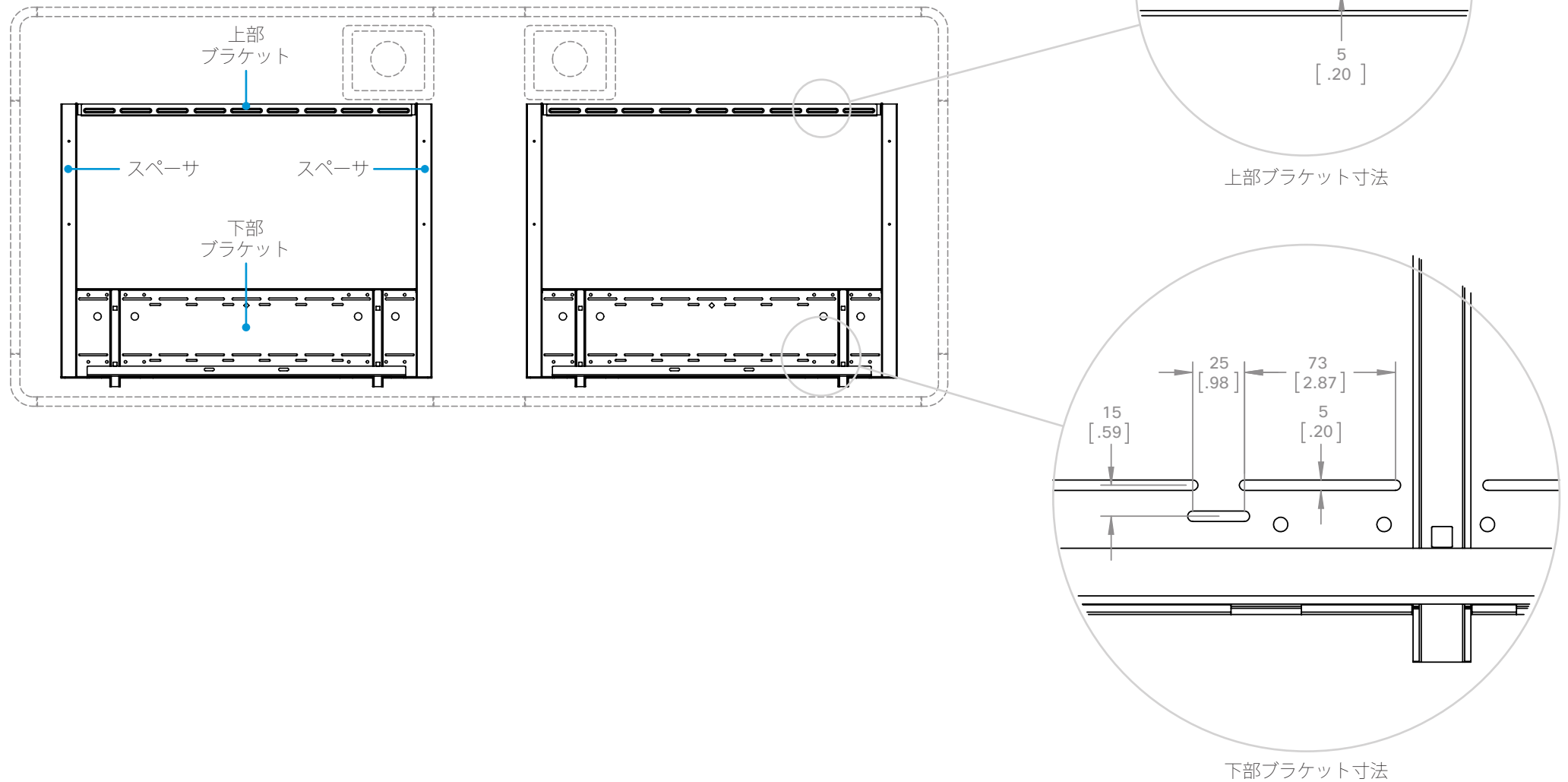
以下に示す数よりも多くの取り付けポイントを使用できます。

- 下部壁面ブラケット**がモニタの総重量を支えます。各下部ブラケットに最低4つの取り付けポイントを使用することを推奨します。壁面の間柱の場所を確認し、間柱に取り付けポイントを合わせます。
- 上部壁面ブラケット**は、モニタの上部をしっかりと固定して、モニタが前に傾斜しないようにします。各上部ブラケットに最低2つの取り付けポイントを使用することを推奨します。
- 左スペースと右スペース**は、上下のブラケット間の適正な空間を確保します。各スペースに2つの取り付けポイントを使用することを推奨します。

壁面ブラケットのネジ寸法

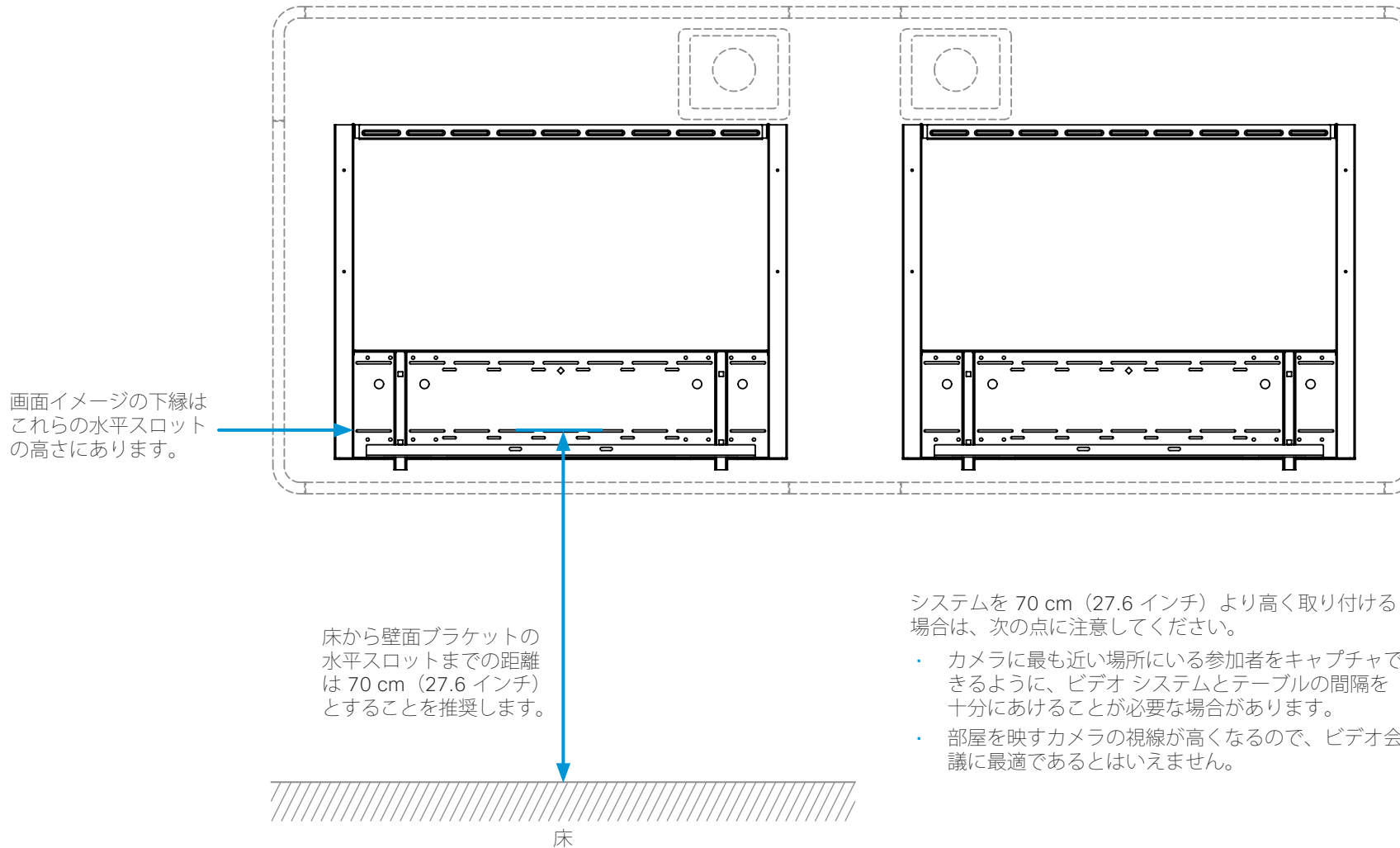
壁面ブラケットのネジ寸法は 5 mm (0.20 インチ) で、MX700 と MX800 のどちらでも同じです。MX700 と MX800 の壁面ブラケット寸法は等しくありません。

図は、MX700 の壁面ブラケットを示しています。



取り付け高さの計画

床から壁面ブラケットの水平スロットまでを測定した推奨取り付け高さ（図を参照）は、MX700 と MX800 のどちらでも同じです。図は、MX700 の壁面ブラケットを示しています。



システムを 70 cm (27.6 インチ) より高く取り付ける場合は、次の点に注意してください。

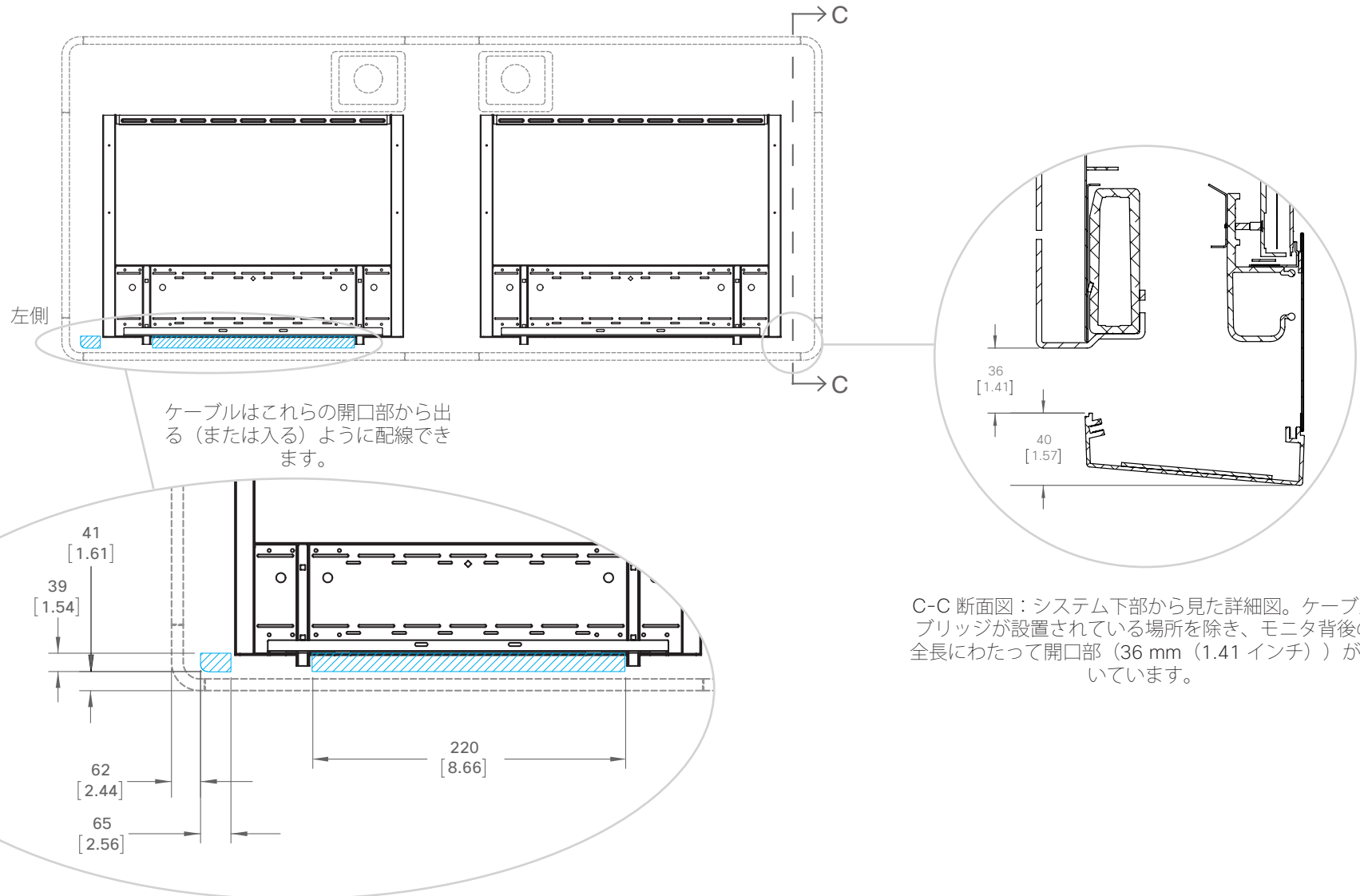
- カメラに最も近い場所にいる参加者をキャプチャできるように、ビデオ システムとテーブルの間隔を十分にあげることが必要な場合があります。
- 部屋を映すカメラの視線が高くなるので、ビデオ会議に最適であるとはいえません。

シングルまたはデュアル カメラ付き MX700 用の配線計画

図は、デュアル カメラ付き MX700 を示しています。シングル カメラ バージョンでも同じ寸法が適用されます。

安全上の注意事項

いつでも装置の電源を切断できるように、電源スイッチにすぐ手が届く状態にしておいてください。電源スイッチは装置の左側、サイドカバーの背後にあります。

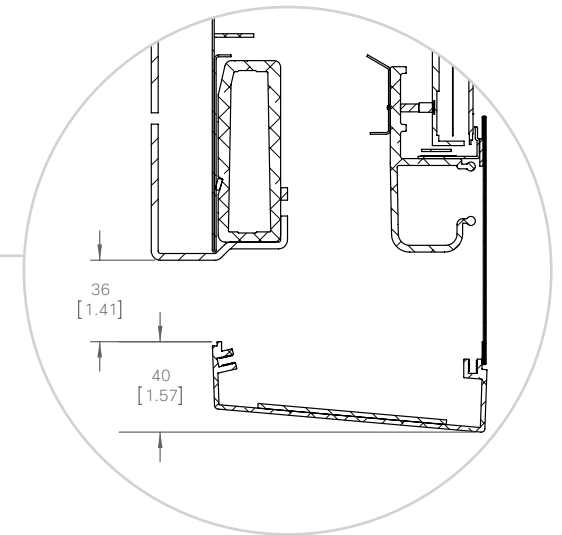
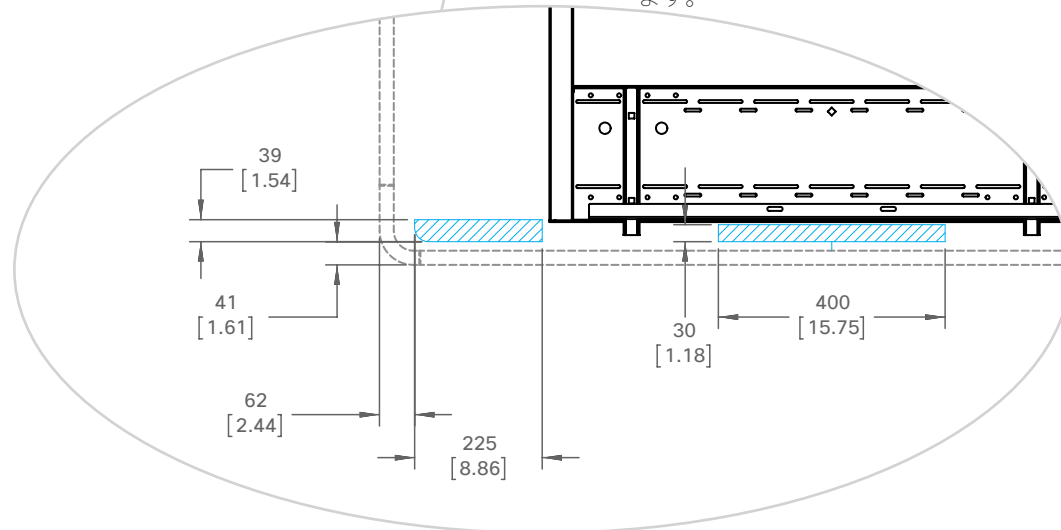
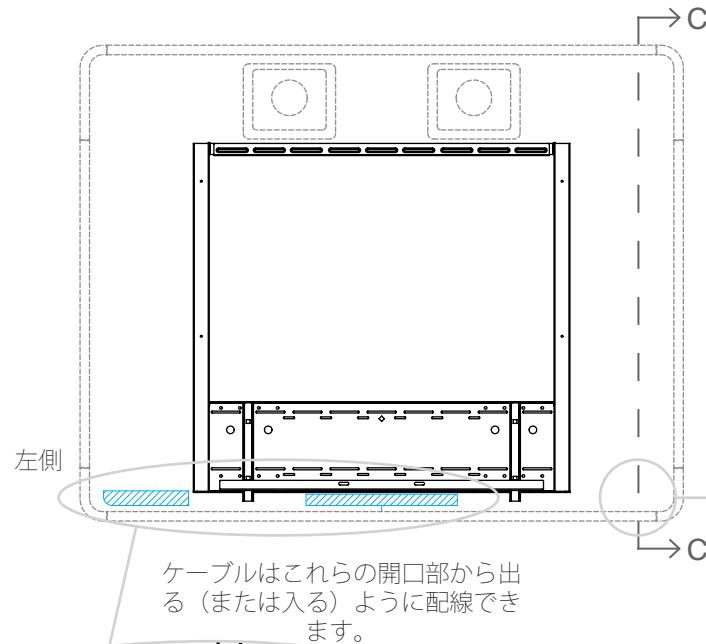


シングルまたはデュアル カメラ付き MX800 シングル用の配線計画

図は、デュアル カメラ付き MX800 シングル モニタを示しています。シングル カメラバージョンでも同じ寸法が適用されます。

安全上の注意事項

いつでも装置の電源を切断できるように、電源スイッチにすぐ手が届く状態にしておいてください。電源スイッチは装置の左側、サイドカバーの背後にあります。

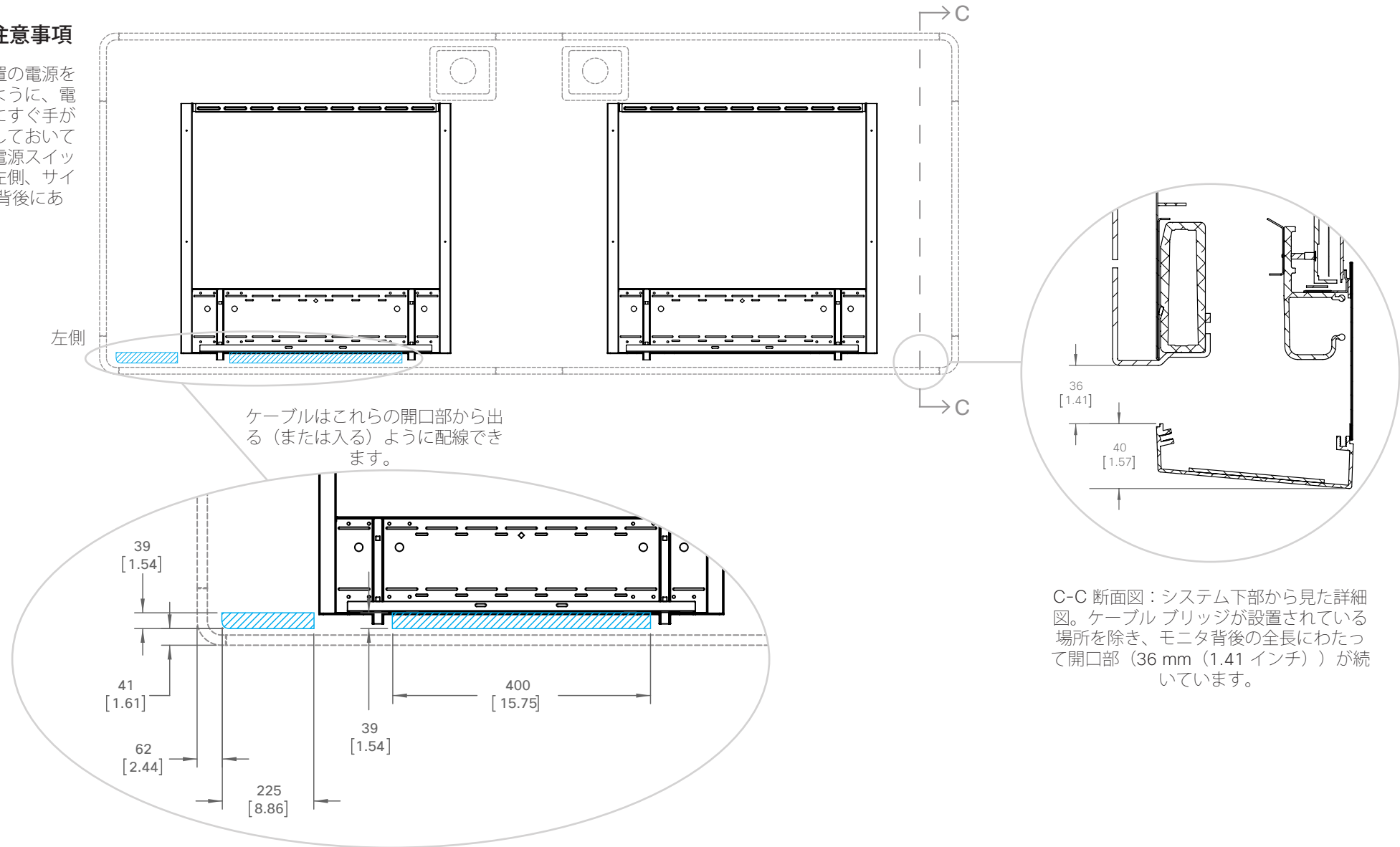


C-C 断面図：システム下部から見た詳細図。ケーブルブリッジが設置されている場所を除き、モニター背後の全長にわたって開口部（36 mm（1.41 インチ））が続いています。

MX800 デュアル用の配線計画

安全上の注意事項

いつでも装置の電源を切断できるように、電源スイッチにすぐ手が届く状態にしておいてください。電源スイッチは装置の左側、サイドカバーの背後にあります。



その他のリソース

MX シリーズのユーザ マニュアル

MX シリーズのユーザ マニュアルは、以下のサイトから入手できます。

<http://www.cisco.com/go/mx-docs>

MX700 および MX800 の寸法を記載した 2D CAD 図面

MX シリーズの寸法を記載した 2D CAD 図面一式は、以下のサイトから入手できます。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-mx-series/products-technical-reference-list.html>

Project Workplace の確認

Project Workplace は、コラボレーションを改善するため、ビデオ対応ワークスペースの設計と実装を支援します。

<http://projectworkplace.cisco.com/#/>

ベスト プラクティス ガイド

効果的なビデオ対応会議室を構築するためのベスト プラクティスは、以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/c/dam/assets/sol/tp/project-workplace/index.html#/page/download>

コラボレーションのためのデザイン ゾーン

企業におけるシスコ コラボレーション テクノロジーの導入のための推奨アーキテクチャとシステム設計については、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/solutions/enterprise/design-zone-collaboration/index.html>